(ｱ) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，文章例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

(ｲ) 社会的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，文章例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，説明や討論などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

② 言語の働きに関する事項

「英語コミュニケーションⅠ」の２の(3)の②と同様に取り扱うものとする。

3 内容の取扱い

コミュニケーションを図る資質・能力を育成するためのこれまでの総合的な指導を踏まえ，五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して，総合的に指導するものとする。

第３ 英語コミュニケーションⅢ

1 目 標

英語学習の特質を踏まえ，以下に示す，五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して，第１款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに，その過程を通して，第１款の(3)に示す資質・能力を育成する。

(1) 聞くこと

ア 日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，支援をほとんど活用しなくても，必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。

イ 社会的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

(2) 読むこと

ア 日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，支援をほとんど活用しなくても，必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。

イ 社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，支援をほとんど活用しなくても，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

(3) 話すこと［やり取り］

ア 日常的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，支援をほとんど活用しなくても，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け，会話を発展させることができるようにする。

イ 社会的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，支援をほとんど活用しなくても，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。

(4) 話すこと［発表］

ア 日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，支援をほとんど活用しなくても，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。

イ 社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，支援をほとんど活用しなくても，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。

(5) 書くこと

ア 日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，支援をほとんど活用しなくても，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。

イ 社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，支援をほとんど活用しなくても，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝え